

PRESS RELEASE

2026 年 4 月 17 日

アッヴィ、片頭痛発作の発症抑制を適応とする経口薬「アクイプタ®(アトゲパン ト)」を日本で発売

- アクイプタは 2026 年 2 月に、成人の片頭痛患者さんに対する片頭痛発作の発症抑制に
関して、国内における医薬品製造販売承認を取得
- 1 日 1 回経口投与する CGRP 受容体拮抗薬
- 片頭痛の国内有病率は 8.4%であり¹、患者さんの労働生産性低下や社会的活動への
制限が生じる疾患^{2,3}

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ティアゴ・カンポス ロドリゲス)は、カルシトニン遺伝子関連ペプチド(以下、CGRP: Calcitonin Gene-Related Peptide)受容体拮抗薬であるアクイプタ®錠(一般名:アトゲパント水和物、以下「アクイプタ」)を本日 4 月 17 日から発売します。アクイプタは、2026 年 2 月 19 日に成人の片頭痛患者さんに対する片頭痛発作の発症抑制に関して、国内における製造販売承認を取得しました。また、2025 年 12 月に片頭痛発作の急性期治療に関する製造販売承認を申請しています。アクイプタが新たな選択肢に加わることにより、より多様な予防治療ニーズに応えることが可能となります。

片頭痛は、世界中のあらゆる地域において、10 億人を超える人々に影響を及ぼしており⁴、国内の疫学研究では、15 歳以上の片頭痛の有病率は 8.4%と報告されています¹。片頭痛は 50 歳未満の特に女性において、世界で最も大きな社会生活への支障の原因であり、経済活動に甚大な影響を及ぼす主要な要因でもあります⁴。片頭痛の主な症状は、中等度又は重度の疼痛のある拍動性や片側性の頭痛であり、悪心や嘔吐、光過敏、音過敏を伴うことを特徴とします。頭痛診療ガイドライン 2021 では、片頭痛発作が月に 2 回以上、あるいは生活に支障をきたす頭痛が月に 3 日以上ある患者さんでは予防療法の実施について検討してみることが推奨されています⁵。

「アクイプタ®錠」製品概要

販売名	アクイプタ®錠 10mg、同 30mg、同 60mg
一般名	アトゲパント水和物
効果・効能	片頭痛発作の発症抑制
用法・用量	通常、成人にはアトゲパントとして 60mg を 1 日 1 回経口投与する。
製造販売承認日	2026 年 2 月 19 日
薬価基準収載日	2026 年 4 月 15 日
発売日	2026 年 4 月 17 日
製造販売元	アッヴィ合同会社

製剤写真



アクイプタについて

アクイプタは、成人の片頭痛の予防治療薬として開発された 1 日 1 回経口投与の CGRP 受容体拮抗薬です。CGRP とその受容体は、片頭痛の病態生理に関与する神経領域に発現します。片頭痛発作時には、CGRP 濃度が上昇することが研究により示されています。アクイプタは、世界 60 か国以上で片頭痛の予防治療薬として承認されており、EU では AQUIPTA®、米国、カナダ、イスラエル、プエルトリコでは QULIPTA®の製品名で販売されています。

片頭痛について

片頭痛は有病率の高い消耗性の神経疾患で、世界の人口の約 14%が罹患しており、男性と比べて女性で多くみられます⁶。片頭痛発作は 25 歳から 55 歳の成人で最も多く生じ⁷、重度の拍動性の頭痛、光や音への過敏反応、悪心を特徴とし、しばしば日常生活に大きな支障をきたします⁸。身体的な影響にとどまらず、片頭痛は全世界で重大な社会経済的問題となっており、心血管系疾患や糖尿病よりも大きな経済的負担を一貫してもたらしています⁹。欧州では、片頭痛による損失は GDP の 1.2%から 2.0%に相当し、無報酬労働における女性の生産性損失は男性の 4~9 倍に上ります⁹。労働生産性、特に無報酬労働の生産性に対する重大な影響にもかかわらず、片頭痛の全体的な負担は過去 10 年間変化しておらず、効果的な治療法の必要性を示しています⁹。

片頭痛領域におけるアッヴィについて（米国アッヴィ本社情報）

アッヴィは片頭痛からの解放を目指して患者さんを支えることに取り組んでいます。医療従事者がさまざまな種類の片頭痛患者さんを治療できるよう、科学の発展に努めています。片頭痛に関する啓発、研究、関係団体との協働を通して、片頭痛患者さんが治療の障壁を乗り越え、適切な治療を受け、片頭痛による日常生活での影響を軽減できるよう支援しています。

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、精神・神経疾患、がん、さらに美容医療関連のアラガン・エステティッ



クスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#)、[X](#) や [YouTube](#) でも情報を公開しています。

日本においては主に、免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がん、アイケアの領域、さらに美容医療関連のアラガン・エステティックスのポートフォリオで、製品の開発と提供に取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.co.jp をご覧ください。[Facebook](#) や [YouTube](#) でも情報を公開しています。

References:

1. Sakai F, Igarashi H. Prevalence of migraine in Japan: a nationwide survey. *Cephalalgia*. 1997;17(1):15-22.
2. Lipton RB, Pozo-Rosich P, Andrew M, Blumenfeld AM, et al. Effect of Atogepant for Preventive Migraine Treatment on Patient-Reported Outcomes in the Randomized, Double-blind, Phase 3 ADVANCE Trial. *Neurology*. 2023;100:e764–77.
3. Mannix S, Skalicky A, Buse DC, et al. Measuring the impact of migraine for evaluating outcomes of preventive treatments for migraine headaches. *Health and Quality of Life Outcomes*. 2016;14:143.
4. Ashina M, Katsarava Z, Do TP, et al. Migraine: epidemiology and systems of care. *Lancet*. 2021;397(10283):1485-95.
5. 日本神経学会 頭痛診療ガイドライン 2021
Available at: https://www.neurology-jp.org/guidelinem/headache_medical_2021.html
February 10, 2026.
6. Dong L, Dong W, Jin Y, et al. The Global Burden of Migraine: A 30-Year Trend Review and Future Projections by Age, Sex, Country, and Region. *Pain and Therapy*. 2025;14(1):297-315.
7. What is Migraine. The Migraine Trust.
Available at: <https://migrainetrust.org/understand-migraine/what-ismigraine> . January 9, 2026.
8. Migraine headaches. Cleveland Clinic.
Available at: <https://my.clevelandclinic.org/health/diseases/5005-migraine-headaches> . January 9, 2026.
9. The socioeconomic burden of migraine: The case of 6 European Countries. WifOr Institute.
Available at: <https://www.wifor.com/de/download/the-socioeconomic-burden-of-migraine-the-case-of-6-europeancountries/?wpdmdl=358248&refresh=685c5ea88c24c1750884008> . Accessed January 9, 2026.